

豊岡市記者配布資料

年月日	部課名	電話	責任者 (役職名)
2026年 3月18日(水)	コウノトリ共生部 コウノトリ共生課	0796-21-9017 (内線 2341)	宮垣 均 (課長)

(件名)

環境省がコウノトリのレッドリストのランクダウンを公表

(内容)

3月17日、環境省より「環境省レッドリスト」の改訂が公表され、コウノトリのランクが「絶滅危惧 IA 類（ごく近い将来における野生での絶滅の危険性が極めて高いもの）」から「絶滅危惧 IB 類（近い将来における野生での絶滅の危険性が高いもの）」へ下がりました。

これを受け、市長およびコウノトリ普及推進員（元県立コウノトリの郷公園主任飼育員）のコメントを別紙のとおり発表します。

《問合せ》コウノトリ共生部コウノトリ共生課(担当 宮垣、竹内)
Tel 21-9017(内線 2341、2343)

コウノトリの環境省レッドリストのランクダウンに係るコメント

○豊岡市長 門間 雄司

2005年のコウノトリ放鳥から20年という節目を迎え、野外のコウノトリ個体数が550羽を超え、この度、環境省レッドリストにおいて絶滅危惧ⅠA類からⅠB類へのランクダウンという歴史的一歩を記せたことを、市民の皆様とともに心から喜びたいと思います。

この成果は、関係団体や研究者の皆様、そして、日々温かく見守ってくださった地域住民の皆様の長年にわたる献身的な努力の賜物です。

コウノトリ野生復帰の取組みは、単なる「種の保護」だけでなく、「コウノトリも住める豊かな環境」を取り戻す挑戦でした。

これは一里塚であり、ランクの維持または更なるランクダウンに向けて（次は絶滅危惧種という枠組みからの卒業を目指し）、これからも人と自然が共生する持続可能なまちづくりを一層推進してまいります。

○豊岡市コウノトリ共生課 コウノトリ普及推進員 船越稔

(元県立コウノトリの郷公園主任飼育員)

【コメント】

1991年にコウノトリの飼育員となり、寝泊まりしながら人工育雛を担当していました。その頃、「コウノトリの野生復帰」に関する議論が始まりました。2005年の初めての放鳥には現場で携わり、放鳥個体の選定や馴化訓練、さまざまな放鳥方法の試行を行いました。コウノトリの野生復帰の目標は「コウノトリが普通の鳥になること」という合言葉のもと、試行錯誤を続けました。

放鳥後の次の目標は、環境省のレッドリストで絶滅危惧ⅠA類からⅠB類へのランクダウンでした。放鳥から20年を経て、この目標の一つのハードルを越えられたことは大きな成果であり、大変うれしく思います。

今後は豊岡市職員として、また地域住民として、コウノトリの野生復帰の最終ゴールに向けて関わっていきたいと思います。